

令和5年度庁内DX支援委託業務

〈審査基準〉

審査項目	配点	審査の視点
業務実施体制の確保	40	本業務を実施する体制が適当であるか。
		本業務を受託するにあたっての課題認識が適切で、自社の強みが本業務に活用できるか。
全庁業務量調査の実施	50	調査シートの内容（レイアウトや項目等）は業務を可視化・分析するうえで有効なものか。
		職員が回答する際に個人差が出ないような工夫が有効であるか。
		調査に伴う職員負担を軽減するための工夫が有効であるか。
		調査回答率を高めるための方法が効果的であるか。
		調査実施の間合せの方法や支援体制が十分であるか。
		業務改善すべき対象の業務を効果的に抽出するための視点、手法が効果的であるか。
全庁業務量調査報告書の構成が優れており、業務改善を効率的、効果的に進めるための調査結果の活用方法が効果的であるか。		
BPR手法研修の実施	40	研修の開催形式は本事業の目的を達成するうえで効果的であるか。
		研修の開催規模（受講者数等）は事業の目的を達成するうえで効果的であるか。
		研修の内容は事業の目的を達成するうえで効果的であるか。
BPR実施支援	40	実施対象業務選定に至るまでのプロセス・判断基準が明確か。
		BPR支援の具体的な手法や内容が効果的であるか。
		BPR支援の業務数が十分であるか。
		中長期的にBPRの取組を自走させていくための手法や支援策は効果的であるか。
その他提案事項	20	当業務の主旨・目的を理解し、より効果的に実施するための独自の提案がなされているか。
見積価格	10	得点算出方法：A×B/C A=10、B=最安価業者の見積価格、C=当該業者の見積価格 ※小数点以下は小数点第一位で四捨五入